

## 学校規模等適正化に関する説明会（山田中学校）における質疑回答

1. 日 時 平成 28 年 7 月 25 日（月） 午後 7 時から午後 8 時 30 分まで
2. 場 所 山田中学校 視聴覚室（参加者 22 名）
3. 事務局 管理部：俣野参事、益田参事、兼瀬課長、北村主幹、松尾代理、  
田中主任、廣瀬  
学校教育部：花崎次長

### 4. 内 容

#### （質問 1）

アンケート調査の中で、小中一貫校については 87%の成果があるということだが残りの 13%はどのような問題があるのか。

#### （回答 1）

文科省が昨年、全国の自治体を対象にヒアリングを行った結果、課題として 6 年生のリーダー性が育ちにくいことや、小中一貫校は小規模校になりがちで、9 年間で人間関係が固定化されやすいこと、また、小中の教職員の多忙化というデメリットが挙げられています。

#### （質問 2）

小中一貫校になると人間関係が固定化されるということだが、人間関係が固定化されないように統合が必要だという説明と矛盾しているのでは。審議会では小中一貫校が良いとのことだが、どんな議論がなされたのか。

#### （回答 2）

教育委員会では、守口市と奈良市の先進校に視察に行きましたが、メリットデメリットについては未だ検証中です。今後は、更に小中一貫教育の考え方や施設の在り方について検討する必要があるものと考えています。

#### （質問 3）

枚方市は通学区域の弾力的運用の制度があるが、統合されてもそれは適用されるのか。また、在校生はすぐに新しい小学校に移るのか。

#### （回答 3）

基本的には新しい学校にも適用されます。仮に統合が決まった際には、在校生は新たな学校に移ってもらうこととなります。

#### （質問 4）

山田小に関しては、数年前までは山田中に通学しており、現在は中宮中へと行政に振り回されてきた。また、通学路に関しても、出屋敷までは歩道がなく危険な状態だ。

#### （回答 4）

答申では、小規模校の解消に合わせて、学校敷地が隣接している立地条件を最大限に生かせる施設一体型小中一貫校として提言されました。また、通学路については、学校統合の有無に関わらず、安全性の確保に努めてまいります。

(質問5)

施設規模について、統合すると建物面積も運動場面積も小さくなるのか。

(回答5)

施設規模については、文部科学省所管の「小学校設置基準及び中学校設置基準」により児童数から最低限必要な面積を示したものです。統合後も基準内であることを示しています。

(質問6)

現在、交北小と山田中の中に通路があるが、それは面積に入っているのか。

(回答6)

通路面積は考慮していませんが、小中の施設が一体化した場合には、通路による分断はなくなるものと考えています。

(質問7)

施設一体型はさまざまな問題やデメリットがあると思う。子どもにとってはメリットになるのか。審議会ではどんな議論がされたのか。

(回答7)

文科省から、小中一貫教育はメリットが多いものと示されています。また、審議会では、立地条件を最大に生かした小中一貫教育を実施できれば、子ども達にとって良い教育ができるという議論がなされました。教育委員会としましても、子ども達にとってどのような学校施設が最善なのか、引き続き検証してまいります。

(質問8)

小中一貫校は施設一体型でないといけないのか。枚方市の小中連携教育はとても良いと感じている。施設一体型にする必要があるのかは疑問だ。今のままで小中一貫教育は進められるのではないか。

(回答8)

小中一貫校は、施設一体型の他に施設分離型や施設隣接型がありますが、その中でも施設一体型が小中一貫教育のメリットを最も生かせるものと考えています。また、平成22年度から始めた小中連携教育については、本年度から施設分離型の小中一貫教育として進めています。

(質問9)

基本方針の取りまとめの際には、今回出されたさまざまな不安などについての具体的な説明を聞くことはできるか。

(回答9)

基本方針の取りまとめ方やどのように皆様方と共有化を図っていくのかについては、現時点においては何も決まっていません。また、統合に関する具体的な内容については、皆様方のご意見等をお聞きしながら、実施プランで明確にするとともに、(仮称)統合協議会において、学校統合に関する様々な課題について協議・検討が行われるものと考えています。

(質問 10)

子ども達にとって良い教育をしていきたいということは、今は良い教育をしていないということか。また、教育委員会が進めた小中連携教育なので、小中一貫校に関しても、教員の声を反映すべきではないのか。

(回答 10)

教職員は常日頃から、良い教育をしたいという思いで取り組んでいます。担任はいつも子ども達のことを考えています。もっと良い教育はないのかという思いで教育実践を行っています。

(質問 11)

今後、少人数学級を進めていくことにより学級数が増え、小規模校が適正規模校になっていく可能性がある。また、平成 33 年度までは統合はないということか。児童数の変動によって、市の方針の変更もあるのか。

(回答 11)

教育委員会としましては、少人数学級については、国や府、市での学級編制基準が変われば学級数が増えますので、実情に応じて適切に対応する必要があるものと考えています。

(質問 12)

基本方針の取りまとめ後は、公表されることなく、実施プランの策定となるのか。案の段階で、再度説明会等が開催され、その際の意見が実施プランに反映されるのか。

(回答 12)

基本方針の内容を皆様方とどのように共有化を図っていくのかについては、現段階においては未定です。また、実施プランを作成する際には、改めて皆様方のご意見等をお聞きしていく必要があるものと考えています。

(質問 13)

答申はインターネットでも見ることができるし、各施設において配備してもらっているがなぜ、保護者の全員に配られなかったのか。各世帯にも送ってもらうべき大事なものだと思うが、配布は可能か。

(回答 13)

周知方法が不徹底であったことは、今後の課題とし、工夫をしながら取り組んでまいります。